



中部電力

2021年4月26日
静岡県防災・原子力学術会議
(原子力分科会) 資料-2

2021年3月1日に実施した 緊急事態対策訓練の結果について

中部電力株式会社

2021年4月26日

緊急事態対策訓練を含めた当社訓練の全体像

- 当社は、災害対策組織の対応力向上を目的に、年度毎の具体的達成目標を定めた「訓練中長期計画（3カ年訓練計画）」を作成し、計画的に様々な訓練を実施しています。
- 訓練で抽出した課題に対し改善を行うとともに、「訓練中長期計画」を毎年見直し、達成目標を最新化することで、「災害対策組織のあるべき姿（エクセレンス）」を目指しています。

【訓練の全体像：「訓練中長期計画」に基づき、以下の訓練を実施している。】

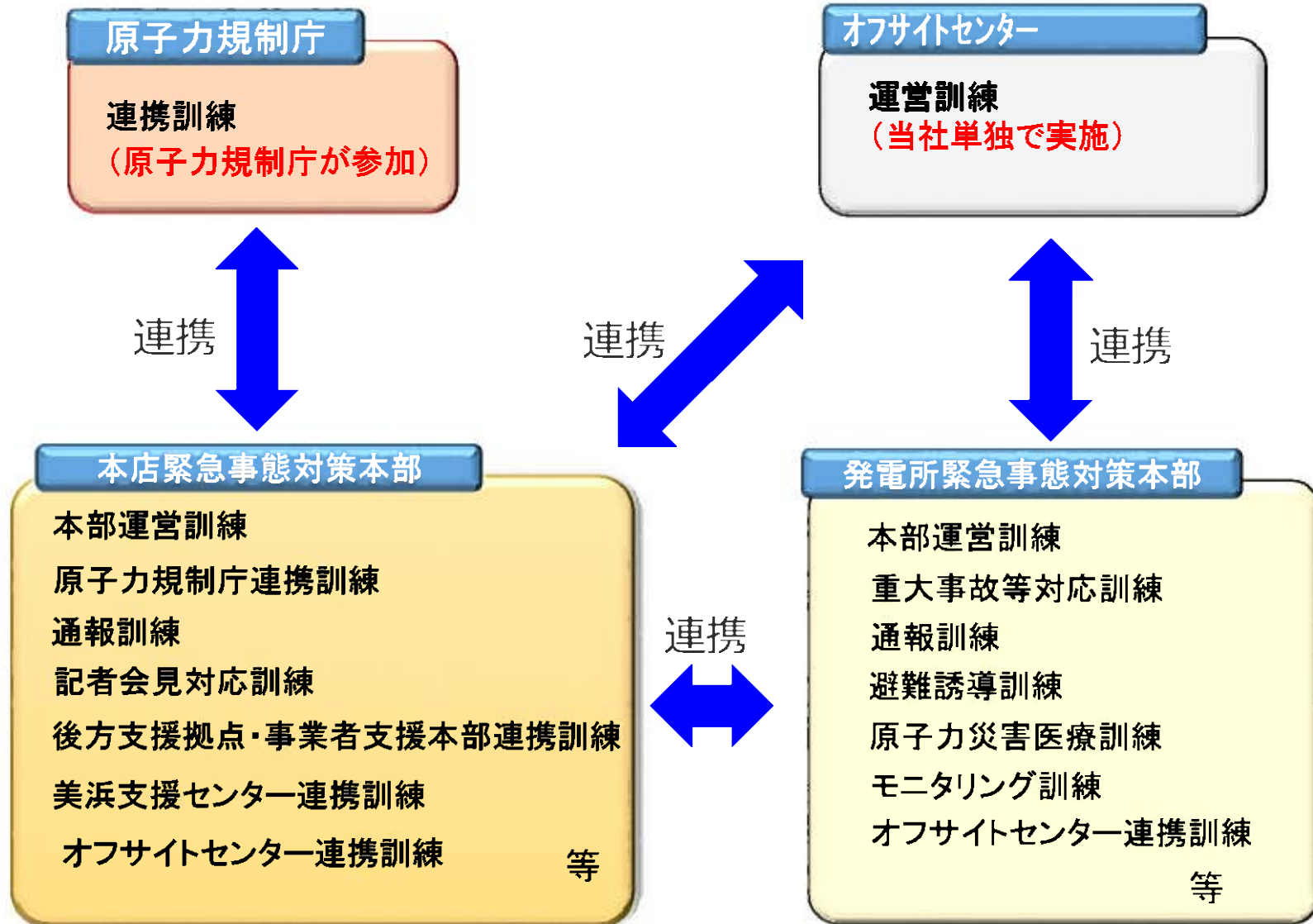
訓練名称		訓練形式	主要な訓練目的
緊急事態対策訓練 全社防災訓練		シナリオ非開示型 総合訓練	<ul style="list-style-type: none"> • 本店、発電所、社外機関等の各所との連携確認 • 状況判断機能の確認・強化 • 本部運営習熟訓練で習熟した「型」の検証
図 上 演 習	本部運営習熟訓練	シナリオ開示型	<ul style="list-style-type: none"> • 緊急事態対策本部を運営していくための「型」の習熟 • 個々の要員の力量の底上げ
	重大事故等対応訓練	シナリオ開示／非開示 (訓練目的に応じ選択)	<ul style="list-style-type: none"> • 判断能力の向上
要素訓練 (各機能班毎に実施)		各種現場訓練	<ul style="list-style-type: none"> • 現場操作等の各手順の確認・習熟

(注) その他個別訓練として、「運転員のシミュレータ訓練」、「ノンテクニカルスキル訓練」、「自治体との連携訓練」等も実施している。

緊急事態対策訓練の概要（訓練想定）

項目	備考
訓練日時	・2021年3月1日 13:05～16:30
訓練形式	・シナリオ非提示型（ブラインド）訓練
検証項目	<ul style="list-style-type: none"> ・4号機運転、他号機停止状態での複数号機同時発災時における確実な対応の検証 ・昨年の訓練で抽出された課題に対する取り組みの有効性を検証
プラント状態想定	<ul style="list-style-type: none"> ・1,2号機は、廃止措置中 ・3,5号機は、定期点検中 ・4号機は、運転中（新規制基準適合後を想定）
被害想定	<ul style="list-style-type: none"> ・運転中の4号機において制御棒挿入失敗、注水機能喪失などが発生し、全面緊急事態（原災法15条事象）に至る ・停止想定5号機において燃料プール水位が低下し、施設敷地緊急事態（原災法10条事象）に至る
参加者数 (統制・評価者含む)	・発電所400名、本店150名、東京支社5名 程度

緊急事態対策訓練の概要（訓練実施範囲と訓練項目）



緊急事態対策訓練の概要（訓練結果）

- 複数号機同時発災時において、あらかじめ定められた機能を概ね有効に発揮できることを確認した。
- 緊急事態の区分判断や原子力規制庁への情報発信等の一部に課題が認められたことから、改善を図り、次回の訓練で検証を行う。



原子力規制庁連携訓練の様子



オフサイトセンター運営訓練の様子



本店本部運営訓練の様子



発電所本部運営訓練の様子



運転訓練シミュレータでの様子

緊急事態対策訓練の概要（主な課題と対応方針）

	主な課題	対応方針
原子力規制庁との連携	<p>本店緊急事態対策本部から原子力規制庁への説明で、プラント状況や対応戦略が伝わりにくい場面（優先対応事項や事象進展予測など）があった。</p> <p>本店緊急事態対策本部において、原子炉水位等の重要なパラメータを監視できておらず、タイムリーに状況を説明できない場面があった。</p>	<p>発話ポイント・発話例を記入したマニュアルを改善し、訓練で習熟を図る。</p> <p>新型コロナウイルスへの感染防止対策として、一人に複数の任務を兼務させたが、要員を絞り過ぎ任務遂行に支障が出た。任務遂行に必要な要員数を再検討し、次回訓練では、適正数を配置する。</p>
緊急事態区分判断	<p>原子炉緊急停止の際、一部の制御棒が全挿入状態に至らず、警戒事態に該当する事象が発生したが、その判断が遅れた。</p>	<p>手順の記載に一部不十分な点があったため、誤解を生じない記載に改める。</p> <p>緊急事態区分判断に係る追加教育を実施する。</p>
情報共有シート記載不備	<p>発電所⇔本店⇔原子力規制庁間の情報共有に使用する「情報共有シート」に正確な情報が記載されない場面があった。</p>	<p>情報共有シート間でのデータ転記漏れがあったため、チェックシートなどを導入し、転記漏れを防ぎ正確性を向上させる。</p>



中部電力